

# ガス切れを起こさない配送予測は大変！

お客様に「安全に」「安心して」LPガスを使用していただくためには、ガス切れを起こさないように配送をすることが配送事業者の使命です。

お客様宅に設置の容器の大きさとお客様の使用量から、ガスがなくなる日を予測し、その前に交換することが必要になります。

お客様宅の設置容器が50kg×2本の場合、片側の容器には25m<sup>3</sup>のLPガスがあります。お客様の使用量は、販売事業者が毎月メータを検針して確認している使用量を教えてもらいます。月間の使用量が10m<sup>3</sup>の場合、片側がなくなるのは $25\text{m}^3 \div (10\text{m}^3 \div 30\text{日}) = 75\text{日}$ 後となります。

当社では、容器配送は19,000軒のお客様に対し7名の配送員で対応しており、平均しても2,700軒/人のため、人間が計算・予測して管理することは不可能となります。そこで、当社はアストモスエネルギー㈱のコンピューターシステムである「ガステーヂシステム」を使い、次回配送日を予測・配送指示伝票を発行し、配送員はその伝票をもとに配送を行うことにより、ガス切れを防止しています。

但し、コンピューターはあくまで計算をするだけのシステムですので、正しい情報を入力しなければ正しい予測はしてくれません。お客様のLPガスの使用量は、夏と冬の気温(水温)の変化や家族構成の変化(お盆や正月の帰省/出産時の一時的な実家での生活等)、ガス機器の増設(石油ボイラーからガス給湯器への変更/ガスファンヒーターの新設)といった変化により変動します。毎月1回のメータ検針である程度の変動は予測に反映は出来ませんが、急激な増量の場合は予測が間に合わずガス切れが発生してしまうこともあります。

ところが最近の技術革新により、お客様宅のメータに接続・毎日検針して通信であげることができる「LPWA」という機器が開発されました。この機器が普及していくと、予測精度が上がってガス切れが少なくなり、お客様がより「安全に」「安心して」LPガスを使用していただくことが出来るようになります。



『目立たない業務』で、『日常の幸せ』を提供しています。